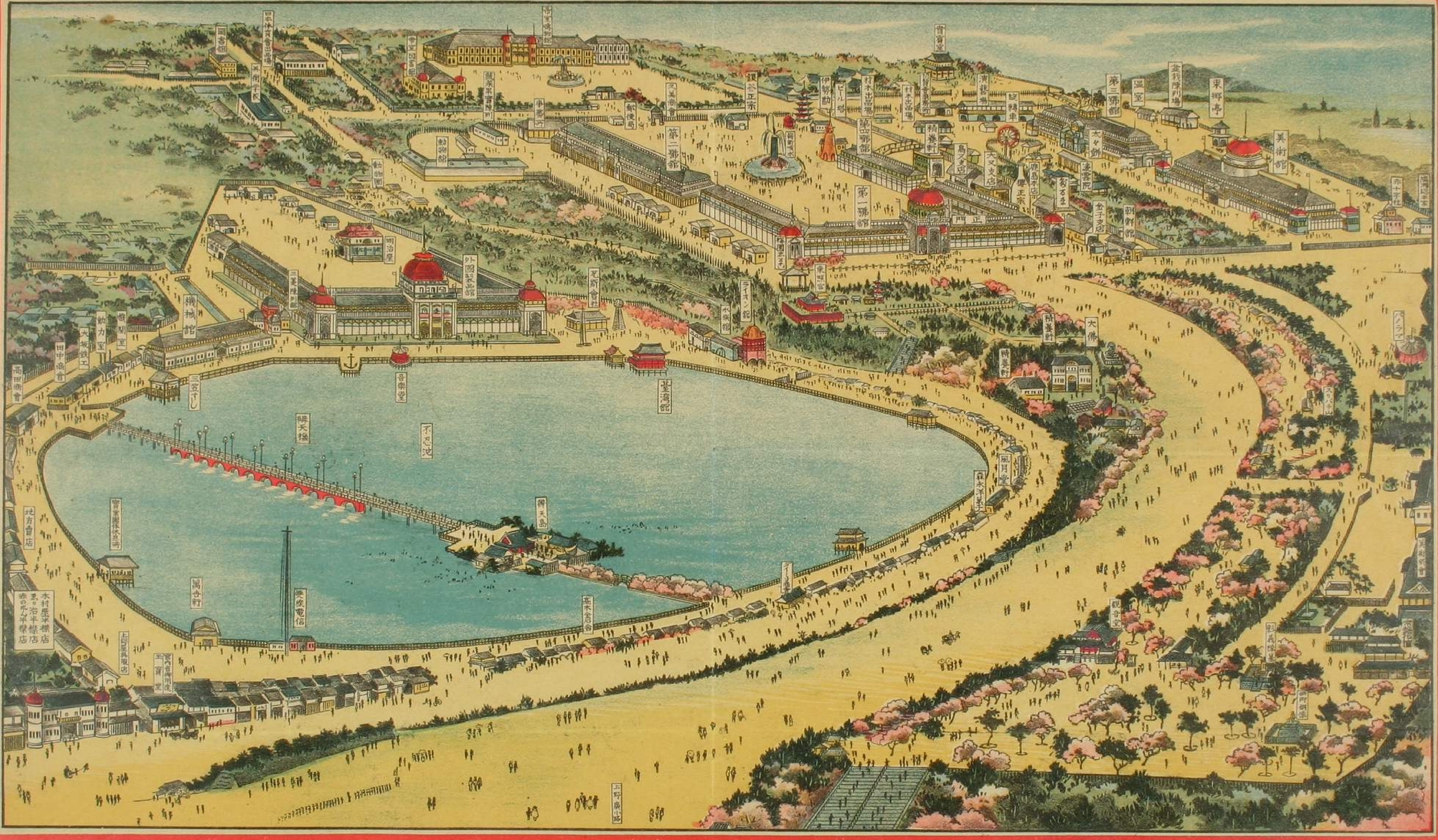
本圖は著作者が其筋の認可を得て調査設計を

東京勸業博覽會全圖

爲したる圖にして其精確なるは多言を要せず

明治四十年二月廿日印刷　明治四十年二月廿五日發行



◉本圖說明◉

第一號館　總建坪千九百八十一坪にして博覽會建物中其巨大なる事第一位を領す館內出品種類は　第一部教育學藝に關する一切の設計、方法器具用法成績品　第四部農業園藝に關する凡ての器具及經營作業成績品蕃殖保護の方法及器具　第五部林業狩獵建築材作業の材料標本模型圖書　第六部水產に關する一切の出品方法標本模型成績品　第七部飲食品に關する製造及貯藏現品器具裝置材料模型標本

第二號館　總建坪千百四十八坪にして第一號館に接續す出品種類は左の八種に別つ　第八部　化學製品工業及醫藥用藥品　第九部窯業品金石品漆物陶瓷器煉瓦　第十部木竹製品紙製品其他植物製品　第十一部皮革羽毛牙角介甲製品　第十三部裝身具携帶品組編物　第十四部採礦冶金其他礦物燃料石材石油凡て採礦に關する方法設計器具裝置模型書　第十七部建築土木設計模型圖書凡て土木建築に關する器具　第十八部衛生救濟凡て事業成績慈善感化殖民各種統計

第三號館は總建坪八百五坪稱して染織館と云ふ出品種類別は刺繡被服布染織品其他製造に關する器具標本裝置

第四號館は總建坪總て五百坪內外にして出品種類は　第十五部陸海軍用品及武器其他軍事の參考品軍事に關する通信造船圖書地圖海圖統計表土木工事の模型

美術館は總建坪七百〇四坪にして美術に屬する各圖書を陳列す其他美術工藝品

機械館は總坪五百〇四坪にして出品種類は總て機械器具其他機械に關する一切の工作品標本模型

外國館　外國製品を陳列す

演劇場は協贊會の催しにして各優の出劇あり觀覽者は隨意に觀覽を許す由

日本橋模型　新に架設せらる日本橋の設計其儘に現せり

動物館　一切の牧畜に關する牧養場なり

五重塔繪馬堂奏樂堂は一號館邸內、あり博物館邸內には一大美術を要したる永久的の噴水設備あり

賣店總數は二百七十余軒あり內飲食店は五十有余多分は一號館右側左側にあり皆市內有名の飲食店なり其は不忍池地畔にあり各種賣品を列けり

館外出品中尤も觀客をして驚かしむるは大日本ビール會社の金剛塔なり其丈十丈に達し塔內はビーヤホール式にして隨意に飲用者の求めに應ず其備設驚くなり次は櫻正宗の四丈余に達する大壜型の賣店ありビール會社同樣ホール式にて飲用者の便に供すと云ふ

著作權所有不許複製

東京市麴町區富士見町五丁目十六番地
著作者　杉崎秀明

東京市京橋區本銀町二丁目十四番地
印刷兼發行者　小川福太郎

發行所
東京市京橋區本銀町二丁目十四番地
博覽時報社